



おいしい 草津の水道水

ロクハ浄水場の取り組み

琵琶湖の水を浄水場の原水（水源）にしているロクハ浄水場は、「急速ろ過法式」により浄水処理をしています。急速ろ過法式では水源の状況に合わせた薬品の注入により、琵琶湖原水を無色透明に浄水することが出来ますが、毎年、春から秋頃までの間に琵琶湖原水中にカビ臭などを発するプランクトンが繁殖すると、通常の急速ろ過では水のカビ臭を十分に取り除くことが出来ません。こうした浄水の臭気対策としてロクハ浄水場では、平成4年に粒状活性炭による臭気吸着設備を設け、臭気の発生期間は急速ろ過の後に粒状活性炭吸着設備による高度処理を行ってきました。

平成23年3月に策定された「草津市水道ビジョン」の目標の一つに「安心：安全でおいしく飲める水を届けます」を定めました。その中に平成33年目標「カビ臭から見たおいしい水達成率：100%」を掲げています。

今後も安全でおいしい草津の水道水をお届けするために、高度処理施設の適切な運用に努め、早期の目標達成を目指します。



活性炭吸着地内部



粒状活性炭

浄水場見学

草津市の浄水場では、各小学校からの依頼により小学4年生を対象に社会科学習の一環として浄水場の見学案内を行っています。琵琶湖の水がどのような工程や設備を経て安全できれいな水道水になるのか、安定して浄水場を運転し続けるためにどのような仕事をしているのか、浄水場の見学案内を通じて学習していただいています。

また、北山田浄水場では、平成23年度より市のくさつ・エコミュージアムの1施設として夏休みの環境学習イベント（親子見学・体験講座）を行っています。小学生を対象に浄水場の見学とペットボトルを使った浄水実験やプランクトン観察など、親子で楽しみながら水道水について学習できる催しを行い多数の方々に参加いただいています。

子供たちが浄水場について理解を深めることで、水道水の大切さ、水道水の安全性、そして原水となる琵琶湖の大切さを感じていただくことを目的としています。

今後もこれらの取り組みを続け、安全でおいしい草津の水道水と琵琶湖の恵みへの感謝について啓発していきたいと考えています。



きき水大会によるPR活動

草津市では、水道水の安全性とおいしさを皆さまに広くPRするため、きき水大会（水道水とミネラルウォーターの飲み比べ）を実施しています。

この取り組みは、平成23年度の初開催から今年度まで計8回実施し、毎回多くの人で賑わう人気のイベントとなっています。参加者からは、「水道水の水の方がおいしかった」、「水道水のイメージが良くなった」といった声を多くいただいています。

また、イベントではアンケートにご協力いただいております。きき水体験をされた感想や当日会場の様子などを市ホームページに掲載しています。

きき水大会参加者

平成23年度… 1,020名
平成24年度… 500名
平成25年度… 700名
平成26年度… 1,150名
※概算の数値になります。

